



かわぐち合唱団ニュース第 48 号

2017、8,30

代表 小川喜也

合宿で「旅」の表現力をアップ！（アイスの差し入れが、のどを潤す）

10周年まで あと 192日（練習回数は あと 25回）（数字を訂正、すみません）

8月27日の合宿での練習から（テープの録音状態が悪く、一部分のみ掲載。「旅」の5,6,7は次号に掲載）

2. 村の小径で： ・（むらのじさまが）（むらのじぞうさんが）（とうげの一本すぎ）など音域が低いので音量が減る。だから、もう少し歌詞を立て、声を出して。**一人一人の力が重要。**

・ p11の最後のハミングは、ppで a tempoで終わる。

3. 旅のよろこび： ・ p12（とんでる とんでる）は、（n）がつまっている感じ。前に向かっていく感じで。2回目の（とんでる）をもう少し大きく。

・ p14（とんでる とんでる とんでる カモメ）の「カモメ」は、音域が下がるので音量が減る。カモメが飛んでいるように、音量を増やして歌う。

・ p14（かなたくろしおーに）の（か）が（あ）に聞こえる。「k」をきかせて。

・ 喜ぶ感じが、もう少しほしい。ここから飛び立つ感じで。

4. なぎさあゆめば： ・（なぎさ）が出る前の、前奏4小節に意味があり、**味わってでること。**

・ ブレスの記号のあるところのみ、ブレス。

・ p18（なぎさ）の「な」からクレッシェンド。（しおなりー）でデクレッシェンドして。もう少ししゃべる。自分から仕掛けていく感じで歌うこと。

・ p19（せつーなくも）pで入りクレッシェンド。（とおーく すぎし日）mfで入りでクレッシェンドし、デクレッシェンドに移行。

・ p19（めくるめくー）pで入り、クレッシェンド、デクレッシェンドに移行。

・ p19（ひかりのなみにー）クレッシェンド、デクレッシェンドに移行。

・ p19（にひきのうおー）pで入りクレッシェンド。すぐfでデクレッシェンドに移行。

・ 気を抜かない。何となくはだめ。

・ p20（なぎさあゆめばー）は**作り直すつもりで。指揮を見る。**

・ p22（さびーしきー）はピアノに聞きほれず、入る準備をして。

・ p23（はるかなーうなばらはー）は、クレッシェンドからffにしデクレッシェンドに移行。（あいー）はpだが、歌詞を立てる。

・ p24（おもいでーおもいでーうかぶー）はノンブレス。fで入りffに移行し、デクレッシェンド。伸ばすときの「えー」の発音に注意。同じ音が続くとき音程が下がるので、次の音を高めにとること。

連絡： 10周年の曲順。（楽譜をこの順に揃えてください）

① 箱根八里、待ちぼうけ、浜辺の歌、野の羊、かやのき山の。

② 愛の讃歌：、上を向いて歩こう、虹と雪のバラード、瑠璃色の地球、少年時代、お祭りマンボ。

花は咲く（会場の皆さんと歌おう）

③（Faure 曲集）Salve Regina、Ave Maria、Tantum ergo。

③ 「旅」（アンコール曲は「落葉松」）

